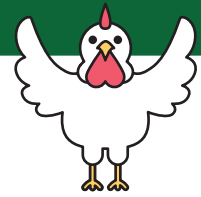


鶏・豚のアニマルウェルフェアに対応した飼養管理の手引き 養鶏編

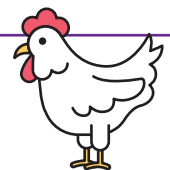


2025年3月31日に「鶏・豚のアニマルウェルフェアに対応した飼養管理の手引き」が出版されました。ここでは、ダイジェスト版として「養鶏」についての内容を紹介します。

養鶏編 もくじ

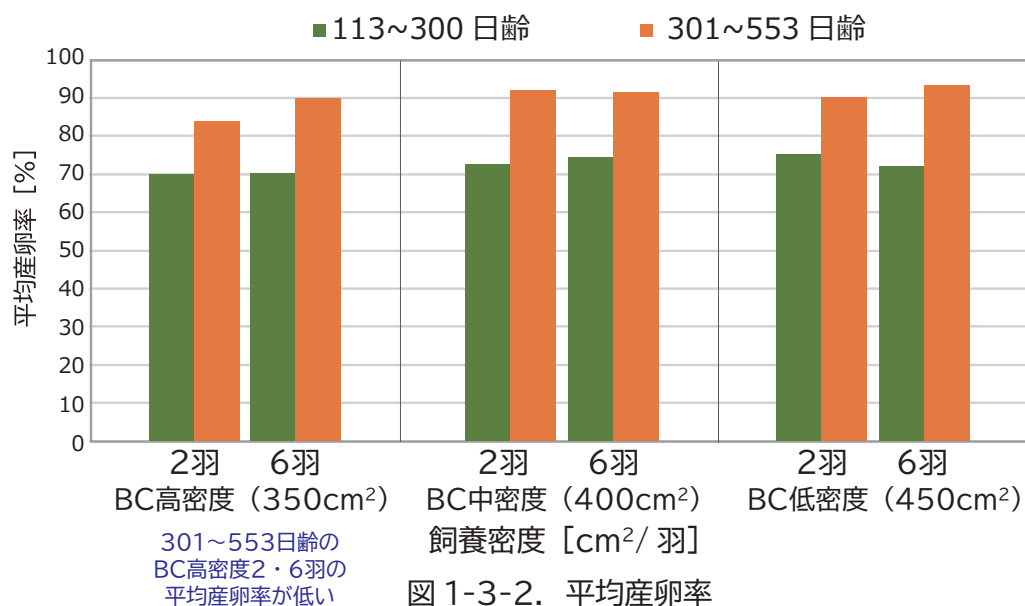
- 1-1. 採卵鶏の施設
- 1-2. 採卵鶏における現状と今後の方向性
- 1-3. バタリーケージの適正管理技術 ●ピックアップ①
- 1-4. バタリーケージからエンリッチドケージへの簡易改造方法
- 1-5. バタリーケージから簡易的に改造したエンリッチドケージの管理技術
- 1-6. バタリーケージからエンリッチドケージへの簡易改造技術とコスト
- 1-7. コラム アニマルウェルフェアで卵の味は変わる？
- 1-8. 大型エンリッチドケージ導入による管理技術 ●ピックアップ②
- 1-9. コラム 国内産 動物福祉型ケージシステムの紹介
- 1-10. 採卵鶏の小括
- 1-11. コラム アニマルウェルフェアで卵の小売価格はどう変わる？

ピックアップ1



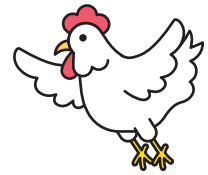
1-3. バタリーケージの適正管理技術

ここでは、バタリーケージ（BC）の一般的な飼養方法を代表する密度として、350（高密度）、400（中密度）、450（低密度）[cm²/羽]の3つの密度を設定し、同様にケージ内飼養羽数として、2羽と6羽を設定し、計6パターンの試験区を作り、ボリスブラウンを導入して、生産性やアニマルウェルフェアの評価を行いました。



平均産卵率（図 1-3-2）では、113～300日齢の産卵率に有意な違いは認められませんでした。後半の301～553日齢では、BC中密度区とBC低密度区と比較し、BC高密度区で産卵率が有意に低下しました。

ピックアップ 2



1-8. 大型エンリッチドケージ導入による管理技術

この試験では、大型のエンリッチドケージ(EC)を導入した場合を想定した試験を行いました。止まり木・巣箱・砂浴び場が設置してある間口約 240cm のエンリッチドケージに、ポリスブラウンを導入し、密度はEU基準を満たす 750cm²/羽（大型EC低密度区）と 341cm²/羽（大型EC高密度区）の2つを設定しました。

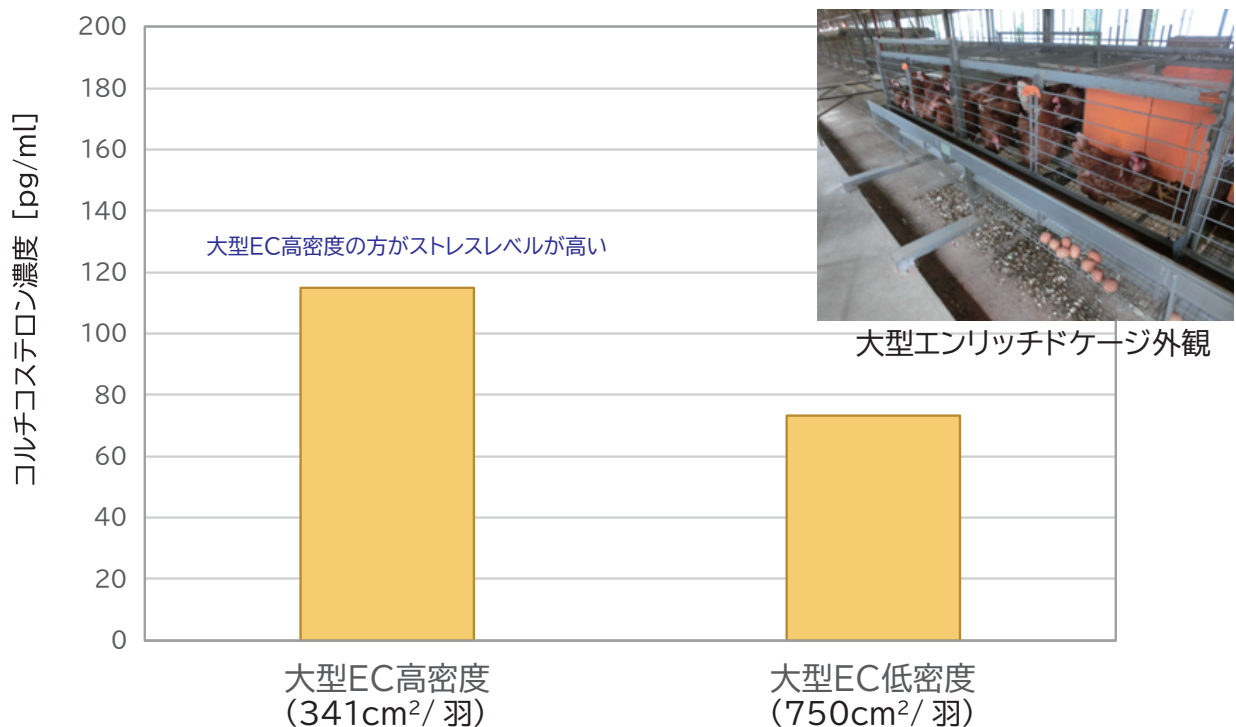


図 1-8-4. 大型EC高密度と大型EC低密度の血漿中コルチコステロン濃度の比較

ストレスホルモンである血漿中のコルチコステロン濃度も、大型EC低密度と比較して、大型EC高密度でストレスレベルが高くなる傾向にありました（図 1-8-4）。

「鶏・豚のアニマルウェルフェアに対応した飼養管理の手引き」は、みどりの食料システム戦略実現技術開発・実証事業のうち令和4～6年度農林水産研究の推進（委託プロジェクト研究）「鶏及び豚の快適性により配慮した飼養管理技術の開発」（JPJ011279）」の支援を受けて実施した研究成果を基に作成したものです。



WEB 版「鶏・豚のアニマルウェルフェアに対応した飼養管理の手引き」

<https://doi.org/10.15087/0002000272>

上記の QR コードおよび URL からアクセスして下さい。